

浦添市バレーボール協会

1 設立年月日

昭和58年（1983年）5月26日

2 設立の経緯

本市バレーボール協会の設立以前は、昭和20年代から昭和30年代にかけ、富本祐憲氏、宮平忠一氏、日賀幹男氏、垣花泰竹氏が中心となるチームが、全島制覇を成し遂げ浦添バレーボールの基礎、チーム作りを始めた。

昭和30年代から昭和40年代にかけては、市体育協会が中心となり玉城幸男氏、西原栄正氏の指導のもと、宮城健一氏、富本祐憲氏が競技運営を行い大会を開催した。



運動場でのバレーボール大会

昭和50年代に入り、教育委員会主催で小学生、家庭婦人、OB（40才以上壮年）はバレーボール大会等が開催されるようになり年々市のバレーボール競技が盛んになってきた。

(1) 浦添市家庭婦人バレーボール連盟 組織発足

昭和54年（1979年）2月2日、現家庭婦人連盟会長の中田美智子氏又家庭婦人バレー愛好者を中心に西原栄正氏、行政より棚原恒雄氏が集い、同年5月20日に初代会長を西原栄正氏とし、浦添市家庭婦人バレーボール連盟結成第1回大会を開催する事になる。

(2) 浦添市OBバレーボール連盟 組織発足

昭和56年（1981年）3月11日市OBバレー

ボール連盟結成準備会が開催され、同年5月24日市OBバレーボール連盟結成第1回記念大会を初代会長照屋喜栄氏として、浦添小学校で開催された。

(3) 浦添市小学生バレーボール連盟 組織発足

昭和57年（1982年）2月21日結成準備会が開催され、結成第1回大会を初代会長、比嘉安正氏として、浦添小学校で開催された。

(4) 浦添市バレーボール協会組織発足

昭和30年代から行政主体での大会開催であったが、各種年代毎の連盟発足により、自主的に競技運営がなされるようになってきた、連盟発足に伴い、小学生から一般、壮年、婦人等のバレーボール愛好者が増えてきた。

昭和58年（1983年）1月11日に棚原恒雄氏を発起人として、石川晴祥氏、中田美智子氏、川畑義弥氏、玉城仁氏、金城安信氏、与那原良明氏などの呼びかけにより浦添市のバレーボールを語る集いを開催した。

その座談会の中で、昭和62年（1987年）の第42回国民体育大会バレーボール競技地元開催にあたり、3連盟組織の充実発展と国体地元開催の成功を目標に、市協会設立の意見が出された。そこで、昭和58年（1983年）3月9日浦添市バレーボール協会結成準備会を、各連盟（小学生、OB、家庭婦人連盟）の役員を中心に発足された。

幾度かの会合を持ち、沖縄県バレーボール協会の指導を仰ぎながら、同年5月26日初代会長を西原栄正氏として、浦添市バレーボール協会が設立された。

その翌年、5月27日に第1回浦添市バレーボールまつり記念大会が小学生から50歳代の108チームが参加して生涯スポーツにふさわしい大会が開催された。

3 歴代役員（協会・連盟）

- (1) 浦添市バレーボール協会
初代会長 西原 栄正
（昭和58年から平成元年）
二代 平田 良吉
（平成元年から平成14年現在）
- (2) 浦添市小学生バレーボール連盟
初代会長 比嘉 安正
二代 玉那覇 長栄
三代 新城 栄将
四代 福山 朝秀
五代 又吉 真吉
- (3) 浦添市OBバレーボール連盟
初代会長 照屋 喜栄
（昭和56年から平成元年）
二代 川上 宰夫
（平成元年から平成13年）
三代 佐久川 昌一
（平成13年から平成14年現在）
- (4) 浦添市家庭婦人バレーボール連盟
初代会長 西原 栄正
（昭和54年から昭和62年）
二代 中田 美智子
（昭和62年から平成14年現在）

4 年間の行事

- (1) 1月 新春マスターズ（前OB連盟）大会
市内30歳以上で組織する愛好者チーム30、40、50代のランク別で実施。家庭婦人大会は、各学校区を単位とした組織チームで参加している。2連盟が合同新春大会として開催している。また、大会終了後、新年祝賀会も各チームの余興等、バレーボールに花を咲かせる会として全チーム参加のもと開催している。
（主催、マスターズ・家庭婦人連盟）
- (2) 2月 市小学生お別れバレーボール大会
小学6年生最後の大会として開催している。
（主催、小学生連盟）

- (3) 6月 マスターズ・家庭婦人合同夏季大会
（主催、マスターズ・家庭婦人連盟）
- (4) 6月 市小学生夏季大会
（主催、小学生連盟）
- (5) 7月 市総合バレーボール大会
自治会で組織するチームを対象して開催する、年間自治会対抗の点数競技大会である。中学生参加も可能で、県民体育大会への選手選考も兼ねているため、実業団レベルのプレーが観戦できる大会でもある。
（主催、市体育協会、市バレーボール協会）
- (6) 8月 市バレーボールまつり
市内小学生（18チーム）、中学生（22チーム）、高校生（21チーム）、市内企業（19チーム）、実業団（14チーム）、マスターズ（7チーム）、家庭婦人（9チーム）、管理職（3チーム）113チーム、1,700名余りが一堂に会して市民体育館で盛大に開催される。
（主催教育委員会、市バレーボール協会）



バレーボールまつり

- (7) 10月 家庭婦人シニア大会
（9チーム）市内40才で組織する家庭婦人チーム
（主催家庭婦人連盟）
- (8) 11月 市小学生夏季大会
（主催小学生連盟）
- (9) 12月 市内中学生合同練習会
（市バレーボール協会・指導普及部）
以上の大会を協会中心に各連盟が実施開催している。

5 現在の競技人口、加盟チーム

小学生	18チーム	290名
中学生	22チーム	360名
高校生	21チーム	340名
一般	32チーム	520名

(浦添市を拠点として活動している組織及び企業愛好者)

マスターズ (30、40、50代)		
	7チーム	120名
家庭婦人	9チーム	150名
	合計	1,800名

参考 平成14年度バレーボールまつり参加チームより

6 大会での主な成績

(浦添市を拠点として活動している組織及び企業愛好者)

(1) 全九州総合9人制バレーボール大会

男子

沖縄銀行

昭和52年～平成13年まで20回連続出場。

そのうち昭和60年～平成8年まで13年連続優勝

浦添市役所

昭和49年大会出場

うらわスポーツ

昭和61年大会出場

前田重機

平成5年大会出場

男子2部

愛球浦添

平成元、2、4、5年大会出場

モナコ

平成3年大会出場

女子

浦西給油所

昭和49年大会出場

浦添クラブ

昭和53年大会出場

沖縄銀行

昭和58、62年大会出場

南西ツーリスト

昭和63年大会出場

平安病院

平成元、2、10年大会出場

女子2部

平安病院

平成5年大会出場

(2) 黒鷲旗全日本都市対抗9人制バレーボール大会

男子

沖縄銀行

平成2年～平成10年まで

9年連続出場

平成12年大会出場平成4年大会優勝

(3) 桜田杯記念実業団選抜バレーボール男女優勝大会

沖縄銀行 昭和62年第1回大会優勝

(4) 全日本9人制実業団バレーボール大会

沖縄銀行

昭和51、52、53、54年、平成9、10、12、13、14年大会出場

浦添市役所

昭和52年、平成6、7年大会出場

(5) 全日本9人制クラブカップバレーボール大会

男子

浦添クラブ

昭和52年大会出場

うらわスポーツ

昭和57、58、61、63年大会出場

沖縄銀行

昭和59、60、61、62、63、平成元、2、3、4、6、7年大会出場

そのうち昭和60、62、63、平成3年大会優勝

前田重機

- 平成元、4、7年大会出場
- 女子
- 浦添クラブ
昭和52、54、55、60年大会出場
- 浦添市クラブ
昭和61、63年大会出場
- 浦添市体協
昭和62年大会出場
- カワバタスポーツ
平成6年大会出場
- 三州観光開発
平成8年大会出場
- 平安病院
平成9、10、11、12、14年大会出場
- (6) 全日本6人制クラブカップバレーボール大会
- 女子
- 三州観光開発
平成6年大会出場
- (7) 日本産業人9人制バレーボール大会
- 浦添市役所
昭和46、53、55、59、61、62、平成2、3年大会出場
- 沖縄銀行
昭和47、50年大会出場
- 平安病院
昭和48、56、57、58年大会出場
- 女子
- 平安病院
昭和45、53年大会出場
- 沖縄銀行
昭和49、56、57、60、61、62年大会出場
- 嘉数商会
昭和59年大会出場
- 三州観光開発
平成3、4、5、7、13大会出場
- カワバタ不動産
平成14年大会出場
- (8) 全日本9人制総合バレーボール大会
- 男子
- 沖縄銀行
昭和54、56、58、59、60、61、62、63年大会、平成元年～平成12年まで連続出場そのうち、昭和59、62、平成4、5年大会優勝
- うらわスポーツ
昭和57、62年大会出場
- 浦添市役所
昭和63年大会出場
- 前田重機
平成3、5、7年大会出場
- 女子
- 平安病院
平成10年大会出場
- (9) 全国家庭婦人バレーボール大会
- 若草チーム
昭和53年第9回大会準優勝
- サンフラワー
昭和63年第19回大会出場
- (10) しゃぼん玉カップ九州ママさんバレーボール優勝大会
- 浦添マッシーズ
平成5、6年大会出場
平成9年大会二部で3位
- (11) ナリスカップ九州ママさんバレーボール大会
- 浦添マッシーズ
平成10年大会優勝
- (12) 全国イソジ大会
平成14年大会出場
- (13) ペプシカップ九州小学生バレーボール大会
- 浦城サザンスパーク
平成13年大会出場
- (14) 九州中学ハレーボール選抜大会
- 男子
- 港川中学校

昭和63年大会出場

(15) 全国・九州中学校体育大会バレーボール
競技

女子

浦添中学校

昭和56年九州大会準優勝

同年全国大会出場

仲西中学校

昭和63年九州大会出場

(16) ヤングクラブフェスティバルバレーボール
全国大会

ティダクラブ（浦添中学校）

平成10年大会準優勝

7 友好都市蒲郡市との交流

愛知県蒲郡市とは、昭和63年（1988年）市のスポーツ交流事業で家庭婦人連盟役員が交流を始めたのをきっかけに、平成3年（1991年）にはOB連盟（現マスターズ連盟）が市制20周年記念事業で交流を深めた。幾度か交流する中、協会単位で交流が始まるようになり浦添市・蒲郡市、両市のバレーボールまつりに交互に参加しながら親睦交流を深めてきた。今後は、小学生や中学生等、学生チームの交流も含め、老若男女年齢層問わずバレーボールをとおして交流をしていきたい。



蒲郡市交流

8 浦添市市制施行20周年記念OBバレーボール大会の思い出

市制施行20周年記念事業として平成2年（1990年）9月23日に故比嘉昇氏を大会会長（当時浦添市長）とし、OB壮年35才以上の愛好者大会を開催した。

県内チームだけではなく全国大会として呼びかけをする大会となり、35才代8チーム、40才代14チーム内4チームが県外参加、50才代10チーム内2チームが県外参加、32チーム500名余りの壮年バレーボール愛好者が全国より一同に会して、ここ浦添市でさわやかな汗を流し交流を深めた。



20周年記念大会

大会終了後も県外選手団、行政関係の方々を招き歓迎レセプションを夜遅くまで盛大に行った。

県外チームは八代市（熊本）、都城五十路会（宮崎）、懐古会AB（石川）、高知よさこいクラブ（高知）、蒲郡市（愛知）、計6チーム

9 今日までの成果と今後の課題・展望

バレーボール競技は、陸上競技と共に本市のリーディングスポーツとして、第2次世界大戦後いち早く復興した。全島大会の活躍や本県を代表して、全国大会等に参加するなど多くの市民の誇りとするところであった。このような中、昭和54年に婦人連盟、昭和56年（1981年）にOB連盟、昭和57年（1982年）に小学生連盟が相次いで組織された。

それらを統括する組織として、昭和58年（1983

年)に市協会が設立され組織的な活動が本格化してきた。市体育協会傘下団体として、いち早く組織的な活動を始めた本協会は、市教育委員会と共同で開催したバレーボールまつりは斯道発展の大きな契機となった。

また、市教育委員会の学校開放事業は、計画的な練習を可能にした。市内には県下でも強力なチームが相次いで誕生し、行政と競技団体の連携がうまくいった例として、県内外から大きな評価を得た。

本市に練習の本拠地を置くチームが次々本県を代表し、九州地区及び全国で大活躍をした。中でも、本市出身川畑和弘監督率いる沖縄銀行男子チームが10回の全国制覇を果たしたことは、特筆に値する。

さらに、市協会設立以来、市制20周年記念全国OBバレーボール大会、日本リーグ、第42回国民体育大会など、全国的規模の競技会や県大会を開催してきた。



日本リーグ誘致

そのため、競技人口が拡大され、競技力の向上が図られるとともに組織力が強化されてきた。一方、全国的な少子高齢化が進む中、小・中・高校生の部活動離れが言われているが、本市においても例外ではない。

また、傘下連盟及び本協会役員や指導者の高齢化が進みその対策が急がれている。

普及のための方策はなんと言っても、小学生のチームの拡大と強い一般チームの育成である。そのためには、小学生連盟の一層の活発化を求

めると共に、中学生、高校生、一般チームの普及・強化を図る目的の組織を設立することが必要である。

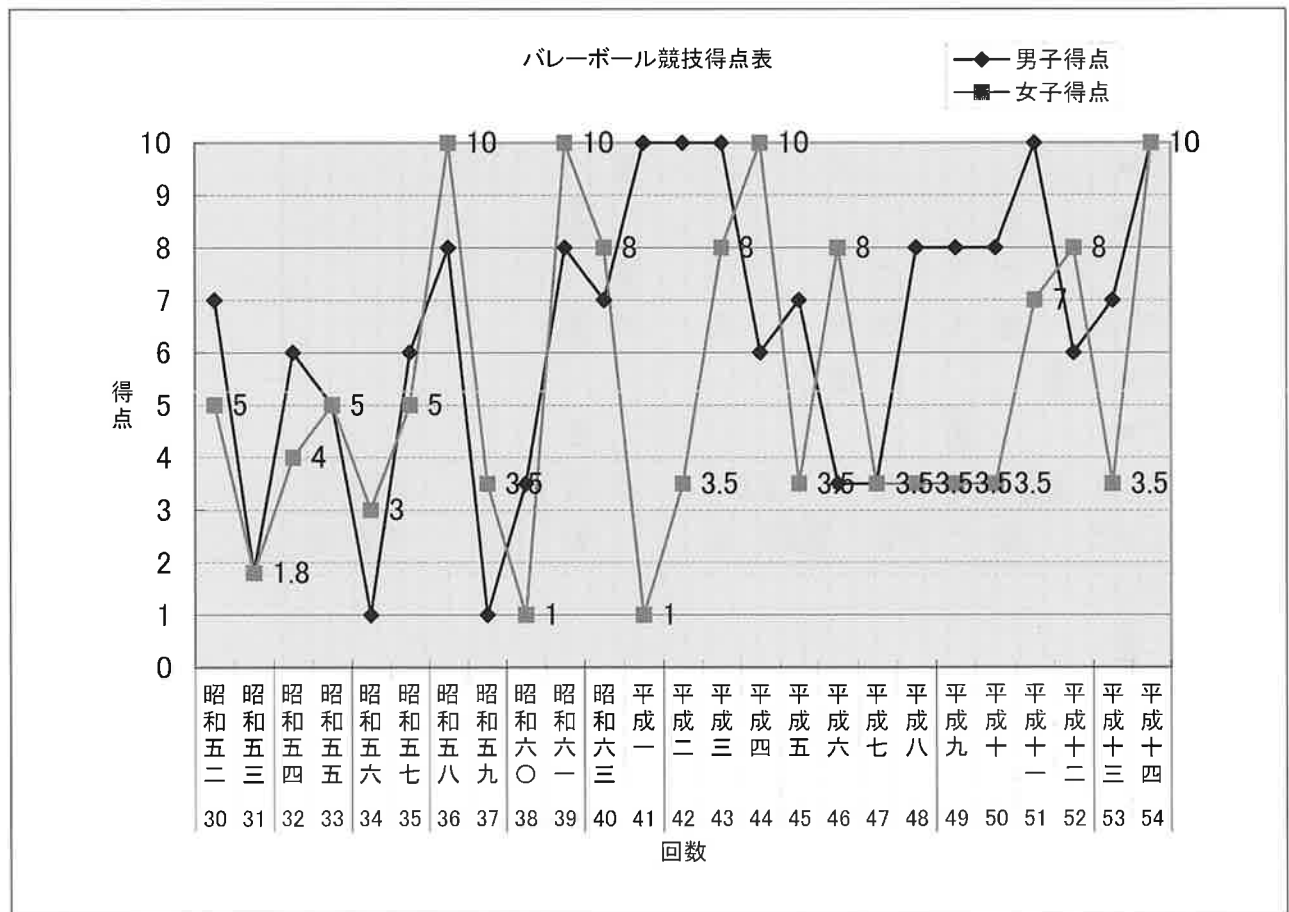
先人の築いてきたすばらしい遺産をただ遺産として思いを巡らすのではなく、本協会の目的達成に向け、組織点検を行い本市バレーボールのさらなる普及・発展を目指し役員の英知を結集して行きたいと考えている。

沖縄県民体育大会における浦添市選手団の成績

バレーボール競技（昭和23年～）

浦添市 昭和48年～

回	年	元号	市の成績			回	年	元号	市の成績		
			男子	女子					男子	女子	
26	1973	昭和48			2.5	41	1989	平成元	10	1	
27	1974	昭和49	不参加			42	1990	平成2	10	3.5	
28	1975	昭和50			7	43	1991	平成3	10	8	
29	1976	昭和51			7	44	1992	平成4	6	10	
30	1977	昭和52	7	5		45	1993	平成5	7	3.5	
31	1978	昭和53	1.8	1.8		46	1994	平成6	3.5	8	
32	1979	昭和54	6	4		47	1995	平成7	3.5	3.5	
33	1980	昭和55	5	5		48	1996	平成8	8	3.5	
34	1981	昭和56	1	3		49	1997	平成9	8	3.5	
35	1982	昭和57	6	5		50	1998	平成10	8	3.5	
36	1983	昭和58	8	10		51	1999	平成11	10	7	
37	1984	昭和59	1	3.5		52	2000	平成12	6	8	
38	1985	昭和60	3.5	1		53	2001	平成13	7	3.5	
39	1986	昭和61	8	10		54	2002	平成14	10	10	
40	1988	昭和63	7	8		55					



浦添市バレーボール協会規約

第1章 名称所在地

第1条 本会は浦添市バレーボール協会と称し、事務所を理事長所在地に置く。

第2章 目的

第2条 本会は主として自発的なバレーボール活動を通して、バレーボールの技能を高めるとともに日常生活の中でバレーボールを楽しむ市民の健康体力の維持増進と相互の親睦を図り、明るく豊かな生活の実現に資するとともに地域スポーツの普及振興に寄与することを目的とする。

第3章 事業

第3条 前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 年間計画に基づく競技大会(講習会、研修会等)の開催
- (2) 他の機関、団体等の主催する競技大会(講習会、研修会等)への参加及び協力
- (3) 地域一般住民のバレーボール活動に関する指導、援助及び普及宣伝
- (4) その他本協会目的達成に必要な事業

第4章 組織

第4条 本会は、本会の趣旨、目的に賛同する各種団体及び市内在住のバレーボール愛好者をもって組織する。

(委員会)

第5条 本会に下記の委員会を設置し、業務を企画執行する。委員会規程は別に定める。

- 1 総務委員会
- 2 競技・審判委員会
- 3 普及強化委員会
- 4 表彰委員会

第5章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- 1 会長 1名
- 2 副会長 若干名
- 3 理事長 1名
- 4 副理事長 若干名
- 5 常任理事 若干名
- 6 理事 若干名
- 7 監事 2名
- 8 会計 1名
- 9 顧問 若干名
- 10 参与 若干名

(役員選任)

第7条 役員を選任は理事会で行う。

(役員任期)

第8条 本会の役員任期は2年とし、再任を妨げない。

2 欠員により選任された役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員任務)

第9条 会長は本会の業務を総理し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。

3 理事長は、会長、副会長を補佐し、理事会の議決にもとづき本会の業務を掌理する。

4 副理事長は、理事長を補佐し、理事長事故あるときは、その職務を代行する。

5 常任理事は、理事会の議決にもとづき日常の業務を処理する。

6 理事は、理事会を組織し、本会の業務を議決し執行する。

7 顧問は会長の諮問機関とする。

8 参与は理事長の諮問機関とする。

9 監事は会計を監査し理事会に報告する。

10 会計は本会の出納に関する事務を行う。

(理事会)

第10条 理事会は、会長が招集する。

- 2 理事会は、年間行事、予算決算、役員人事、会則等について議決する。

(常任理事会)

第11条 常任理事会は会長が必要に応じて招集する。

- 2 理事会議決事項を処理する。
- 3 理事会議決事項以外の事項について処理する。
- 4 理事会に提案する議案の検討整理。

(会議定足数等)

第12条 会議は役員総数の1/2以上の出席がなければ成立しない。但し、出席できない場合は委任することができる。

- 2 会議の議決は出席役員の過半数で行う。
- 3 賛否同数の場合は議長がこれを決める。

第6章 会計

(収入)

第13条 本会の収入は、大会参加料、寄付金、その他の収入によってあてる。

(支出)

第14条 本会の支出は、理事会の議決を経た事項について行う。

(収支決算)

第15条 本会の収支決算書を作成し、毎年理事会の承認を受けなければならない。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 補則

第17条 本会の規約の改正は、出席者の過半数の同意をもって成立する。但し出席できない場合は委任することができる。

付則

この規約は、昭和58年5月26日から施行する。

この規約は、平成58年6月6日から施行する。

浦添市バレーボール協会委員会規程

浦添市バレーボール協会規約第5条により、委員会規程を下記のとおり定める。

第1条 本会に次の委員会を設ける。

- (1) 総務委員会
- (2) 競技・審判委員会
- (3) 普及強化委員会
- (4) 表彰委員会

2 各委員会には、委員の選出により委員長と副委員長を置く。

第2条 委員会は本会の目的を達成し、事業を円滑に行うために、次の事項を行う。

(総務委員会)

- 1 本会の発展に必要な全般的な企画
- 2 会員の資質向上のための研修会の企画
- 3 各種文書、発送及び処理
- 4 本会の会議録の保存
- 5 健全財政のための資金造成計画
- 6 本協会の沿革に関すること。

(競技・審判委員会)

- 1 競技会の年間計画及び競技役員の編成
- 2 協議会の抽選会の計画
- 3 競技成績の整理と保存
- 4 競技用具及び関係用紙類の整理と保存
- 5 競技規則の理解と審判研修会の開催

(普及・強化委員会)

- 1 普及活動の企画と運営
- 2 指導者講習会等の企画運営
- 3 県民体育大会選手の強化計画
- 4 小学生チーム数の拡大計画

(表彰委員会)

- 1 表彰に関すること。

浦添市バレーボール協会表彰規程

第1条 この規程は、浦添市バレーボールの発展に貢献し、この功績が顕著で、他の模範として推奨に値するものを表彰し、チームの強化、向上を図るものとする。

第2条 被表彰者の決定は、浦添市バレーボール協会規程第5条により表彰委員会(以下委員)を設置し、委員会の推薦により理事会を行う。

第3条 委員会は本協会加盟の各チームまたは、役員選手及び関係団体を対象として表彰該当者について選考し、その結果を理事会に報告する。

第4条 表彰は団体と個人に対して行う。

第5条 表彰は協会長が表彰状と記念品を授与して行う。

第6条 表彰は毎年1回行う。但し、必要に応じて臨時表彰することができる。

第7条 委員会は表彰基準に則って審査し、特に表彰に値すると認められるものについて選考するが、この他、関係団体より表彰推薦があったときは審議することができる。

第8条 表彰基準

1 チーム表彰

- (1) 各連盟主催の各大会、県大会等で優勝したチーム。
- (2) 市バレーボール界の発展のため特に貢献のあったチーム

2 個人表彰

- (1) 市協会役員として長年貢献しバレーボール界の発展に特に功績があった者。
- (2) バレーボール競技の指導の普及及び競技運営等に積極的に務め、市バレーボール界の発展に特に貢献のあった者。
- (3) 長年選手として活躍し、市バレーボール界の発展に特に功績があった優秀選手。
- (4) 市代表選手として選抜された人、または県協会で表彰された優秀選手。
- (5) その他市バレーボール界発展のため特に

功績のあった者。

表彰規程についての申し合わせ事項

1 表彰基準

- (1) チーム表彰2については、チーム結成後10年以上経過し、その実績が顕著であること。
- (2) 個人表彰の長年とは、市協会加盟団体の役員を20年以上務めその功績が顕著である者とする。
- (3) 個人表彰5については、過去に市協会加盟団体の役員にあった者で、特に功績があった者、または地域バレーボールの普及発展に多大な貢献のあった者を含める。

2 表彰推薦書の提出について

- (1) 表彰に値すると認められたものについては、それぞれ表彰推薦書(様式1～4)に必要な事項を記入して、加盟団体会長、各チーム代表者は会長が指定する期日までに事務局に提出する。

(2) 推薦様式

- 様式1 優秀チーム推薦書
- 様式2 個人功労者推薦書
- 様式3 優秀指導者及び競技運営貢献推薦書
- 様式4 優秀選手推薦書